

紙上座談会・新労組員大いに語る

「同じ差別せんでもよかるうに」田島
 「人間を差別せんでもよかるうに」上原
 「三池闘争とか知らんもんね」上原

編纂部では新春をむかえるにあたり、二人の新労組員の方々に日ごろ胸につかえてきたいろいろのことを筆頭に語ってもらいました。

新労組幹部のこと、会社のこと、三池労働組のこと、また同じ三池に働くものとして私たちの将来のことなど……。

語る人
 田島利一さん(四上)
 上原正治さん(宮浦)
 (いずれも仮名)

組合には用がない……

「編纂部」いままでいろいろ言えなかったことを、この席から語ってもらいたいのですが、まず田島さん(四上)が所属している組合(三池新労組)について話してもらいますか。

「新労組といつても、支部の労働部長が坑内に保安点検で下がついてくるまではじつは執行部の人間にまかされて、ほかの役員とか、本部役員とかは顔も名前も知らんわ。私たちが会社に対して不満なことを支部に行っても、ウヤムヤにされてしまっている。新労組が、旧労組……といつても、私たちがよき若し者は三池闘争

も知らんし、分裂がウヤムヤ……といつてもいいんですけど、しかし一方の組合がいえば、一方の組合が拒否するようじゃあいかんぞうね。

会社もあんまりひどか

「編纂部」同じ職場に三池労働組の人がいるでしょうが、その人たちはどう感じますか？

「私の職場には三池労働組の人が七人おるがほとんど雑にはかり回ります。会社は……といつても、私たちがよき若し者は三池闘争

らんぼってん、人間の少ないとき、はなれ作業につけられなかつたと思つてます。

私たちが会社とは考えがちがうし、どうも同じく人間だから差別する気持はなかなかな。三池労働組の人とも、しつこく話をするのもいい。

三池労働組の人がモノもいわんのはおかしい

「若し者には新・旧の組合意識はあまりないです。三池労働組の中にも親切な人もいるが、こつちが挨拶しても、わざと横向いていく人もいます。……といつても、お前さんにモノいわんか」といふ気持ちがあるようだ。

三池労働組があとを引いているのだらうが、私のように闘争後に入社した者は、そんな態度をどう見るとカッとするんです。社宅の中も、とくに奥の部屋にはそんな感情がこぼれまわります。

一緒にたたかう方がいい

「編纂部」三池労働組はいろいろ問題で闘争中ですが、たまたかについて話さうか？

「従業員の意見を会社に通すためにストをするところから、三池労働組と新労組が一緒に闘争する一番効果があるんじゃないか？」

「新労組幹部は腰抜けだから、第三組合でもできれば行くはってんといふ人は多いですよ。」

「新労組の執行部からは三池労働組には別名もなすところから、三池労働組もたしかにスト、ストといふうただが、そこへへんはもうと深く話し合ってみたらどうかな、と……」

「編纂部」どうもありがとうございます。



「1966年度はこれで終わった。今年も決意新たにがんばろう。」

「花が手を盛りに咲き散らされて、美しいのはいいが、この花が咲くと寒さを感じるのと同じように、お父さんは日増しに気永くなるし、庭は美しくなると、二鳥だと私は喜んでいる。花を愛する人が、妻を愛さなければならぬ。」

昔から女の一生とか、妻の座とか、何だか女は悲しい運命をもつようにいわれるが、私はしみじみ女であり、妻であり、母であることの上で喜びと、そんなことを考える時ほど、あわせな時はな。

「夕飯のあと、外の音がテレビを見ているのに、私はおどかたじけなくして、一番下の女の子は何時ぞう。」お母さん

「ナポレオン侵略の時代を背景に二人の若者生と死 映画「戦争と平和」

ロシアの文豪トルストイの名作「戦争と平和」をその生涯五十年を記念してソビエトが国家的事業として完成した映画である。

以前上映されたアメリカ映画「戦争と平和」とは違って、ロシア人によってロシアでの映画化であること、原作の精神を忠実に生かしたこの映画はその規模と置もまざることながら十九世紀初頭のナポレオンのロシア侵略という事件を背景にした二人の青年、エールとアンドレイの愛と苦悩を戦争とロシアの大地を背景に描きだす。

大胆に描かれた生きている……

ソビエト映画「戦争と平和」は六五年度モスクワ映画祭グランプリを受賞した大作である。

上映は、十二月二十四日から一月十三日まで。

場所、パレス劇場(常盤町、金比羅山下)

入場料三〇〇円の座席割引券が発行されていますので、ご希望の方は組合でもらってあげます。

【写真は「戦争と平和」の一場面】

国際労働短信用
 チリ全国の衛生事業に従事する労働者職員約四千人は十二月七日四十八時間ストに入りました。このストは経済要求に対する政府回答を要求して行なった衛生事業労働者のデモに警察が残虐な弾圧を加え、多数の労働者を負傷させ、逮捕したことに抗議したものです。

▼豪カンタス航空スト続く

オーストラリアのカンタス航空会社に所属しているパイロットたちは、賃上げを要求してストを続けている。ストはさる十一月二十五日、賃上げ交渉が決裂したため行なわれたもので、十一月八日現在十三日目を迎えた。

▼ベルギーで炭鉱スト

ベルギー中央部の炭鉱事務職員二千五百人は炭鉱が閉鎖された場合の職業の保証を要求して、このほどストに入った。このストはすべての炭鉱労働者の支持を受けており、連帯ストが行なわれベルギーの有力組合の支持も得ている。

手記 私のよろこび

港務支部弥生分会 上田八重野



愛のお母様へ」と書いてある。先日の次男の便りには「一日も早くお母さんの顔が見たい」と書いてあったので、返事に「三池闘争ではいろいろな苦しみなのだから自分の進む道を正しく見いだして、第一に残ったくたさい」と書いた。たまたか「くたさい」と書いた。たまたか「くたさい」と書いた。たまたか「くたさい」と書いた。

住難—それが終戦によりまたきびしくなった。苦しい毎日だが、お父さんはよく力になり、私を引っぱってきてくれた。

三池闘争ではいろいろな苦しみなのだから自分の進む道を正しく見いだして、第一に残ったくたさい」と書いた。たまたか「くたさい」と書いた。たまたか「くたさい」と書いた。

三池労働組に残ることが当然とは、個人にはそれぞれの理由もあり、大変な勇気もいっただけ、その時ほど自分の勇気が湧くのである。

昭和十八年に結婚した私たちが、戦時中のごとくいろいろ苦しい生活があった。当時の誰もが味合ったことであらうが、衣食住を養わすというが、苦しければ、お父さんを見直して、生きていることを感じることはな。

人間は、どんな場になっても、性を養わすというが、苦しければ、お父さんを見直して、生きていることを感じることはな。